

# 自由のともしび

VOL.  
**100**  
2026 March



## おかげさまで 創刊**100**号

リレーエッセイ

### 『自由のともしび』100号によせて

この度当館広報誌『自由のともしび』が100号を迎えることになりました。当館は平成2年4月1日に開館し、本号で発行36年目となります。第1号は、開館から半年後の9月15日付けで発行されました。

『自由のともしび』には実は前史があり、昭和62年度から3年間設置された自由民権記念館建設準備事務所が「自由民権記念館 建設準備ニュース」を全6回発行しています。その第1号巻頭には「県民・市民がこぞって利用する、そのような施設にしたい」と抱負が述べられています。

『自由のともしび』第1号巻頭には「記念館がその使命に向かって十分に機能を発揮するには、まず、館が理解と協力で支えられ、地域に定着した存在になる必要があります。」「この広報誌がそのために役立てば幸いです。」とあり、いずれも地域に根差し、県民市民に支えられる館を目指していることが分かります。これが実現できているかどうか、また十分とは言えないだろうと自覚しているところではあります。

それでは当館そして『自由のともしび』は何を提供するのか。今日、日本国民の前には無数の情報があふれ、学習機会、ツールにも事欠かない状況です。やはり自由民権記念館「ならでは」を提供することであろうと思います。少々歯ごたえがあってもよいのではないのでしょうか。

当館は「自由民権運動の資料を中心に、土佐の近代に関する資料」を対象としています。今後も地道に資料を調査研究しその成果を丁寧に提供することで、地域文化の継承に貢献していきたいと考えます。

高知市立自由民権記念館長

筒井 秀一

# 「木村久寿弥太日記」をめぐる事業

木村久寿弥太は、三菱グループの総理事を務めるなど、戦前財界の重鎮として活躍した高知市出身の実業家です。令和3年度に、久寿弥太本人の日記18冊を含む木村家の日記類が本市に寄贈されました。木村久寿弥太日記には、日常生活はもとより、三菱グループの動きや皇族、経済人、政治家、文化人などの多彩な交流が記されています。久寿弥太は、大正から昭和初期にかけて日本経済の中心にいた人物であり、周辺で起きた出来事や当時の社会的事件に触れている本日記は、日本近代史における貴重な資料と言えます。

この寄贈を記念し当館では、日記の公開、展示、記念事業を実施しました。

撮影・翻刻・公開

令和4年度から木村久寿弥太日記の撮影、調査・翻刻作業を進め、その成果として、令和7年9月にインターネットにて画像と翻刻文を公開しました。

「きわめて情報量が多く、重要な歴史資料」（奈良岡聰智氏（京都在法大学大学院法学研究科教授））であり、様々な分野からの研究に活用していただくことを期待しています。

木村久寿弥太日記はこちらから



## 「企画展」 「木村久寿弥太日記の世界」

期間……令和7年10月4日(土)から

令和8年2月23日(月・祝)まで

会場……2階 特別展示室

展示構成……左記テーマと印象的な表現を軸とし、日記及び関連資料・解説・写真・年表パネルで構成しました。  
また、木村会館からは「木村久寿弥太銅像」「高知市からの「頌徳文」の出品をいただきました。

### 「土佐と久寿弥太」

#### 「久寿弥太と田岡家」

「帰郷」[日記4の日付:大正9年4月2日(金)]

十時過ぎ、漸く浦戸湾に入り上陸

姉及典夫等の出迎を受け赤石田岡の宅に入る

午餐後墓参親戚及旧故の輩訪問応接に暇なし

「故郷の為に」



木村久寿弥太銅像  
(横江嘉純・作)



展示風景

## 記念行事 「木村久寿弥太日記を読む」

日時…令和8年1月24日(土)14時

会場…1階 民権ホール

### 記念講演

奈良岡聰智氏

「木村久寿弥太と大正・昭和戦前期の日本」

### 報告

村中大樹氏「日記翻刻作業の概要」

今井章博氏「木村日記にみる関東大震災」

門田由紀氏「別荘生活」

小林和香氏「待合・料亭での会合」

記念行事では日記を多角的に捉えるため、記念講演に奈良岡聰智氏(京都在法大学大学院法学研究科教授)を迎え、本日記の意義についての講演を、そして一年をかけて翻刻に取り組んだメンバーから印象的であった点などを報告していただきました。

奈良岡講演では、久寿弥太の生涯

を概観し、日記から読み取れる注目すべき点として社長辞任後の「岩崎久弥の役割」、久寿弥太と「社長岩崎小弥太との関係」、「各方面からの寄付の依頼への対応」、「財界活動、政府・政治家とのつながり」、「濱口雄幸(内閣)とのつながり」などに論究し、日記について画像・翻刻文を全てインターネットで公開したことを、「迅速かつ思い切った措置を高く評価したい。翻刻文はキーワード検索が可能で便利。今後政治史・社会史・経営史など様々な分野において研究が大いに進むのではないかと述べられました。



「突然の死」

「別荘・別邸」 「日記9の日付：大正13年8月31日(日)」
午後一時壽美と吉祥寺に赴き工事の模様を視る
洋館は地上迄の鉄筋組立中
日本館の方は来月二日より建前にかかる筈
「趣味」 「日記12の日付：昭和5年4月22日(火)」
処蔵坂本龍馬佩刀長船盛光及土佐吉光と二刀を
名宝展出陳の為網屋に渡す
「岩崎家に仕えて」 「日記17の日付：昭和9年2月7日(水)」
午後三時茅町邸に赴き
先代弥太郎氏五十年の法要に臨む
余は三菱会社従業員代表として招かれたるなり
親戚の外は数氏存在するに已
「久寿弥太の訓示」
「濱口雄幸との交流」 「日記13の日付：昭和6年8月26日(水)」
十時過濱口氏邸(久世山)に至る
中島弥次氏より数日前
余に会たがり居りたりと聞き
残念に思へり
「政財界の中で」 「日記4の日付：大正9年5月25日(火)」
午後後御前口演を命ぜらる
余は動力経済を以て諮頭となし口述約志時間
本日は余の生涯に於て記憶す可き一日なりき
「関東大震災」
「テロの標的」 「日記14の日付：昭和7年12月31日(土)」
幾度かテロの的となりしも
幸に本年を無事に終りたり
「三菱引退」 「日記8の日付：昭和10年3月5日(火)」
感謝状は余が在任中の功績に対し
讃辞を羅列したるもの
言々々々肺腑を貫き涙澎湃たるを覚ゆ
「闘病と死去」 「日記18の日付：昭和10年11月22日(金)」
今朝驚のホー法華経と啼くを聞く
兩三日前の朝同様の事あり
鶯は初冬に已に啼くことを始めて知る
「木村会館」

「激動の時代」

「別荘・別邸」 「日記9の日付：大正13年8月31日(日)」
午後一時壽美と吉祥寺に赴き工事の模様を視る
洋館は地上迄の鉄筋組立中
日本館の方は来月二日より建前にかかる筈
「趣味」 「日記12の日付：昭和5年4月22日(火)」
処蔵坂本龍馬佩刀長船盛光及土佐吉光と二刀を
名宝展出陳の為網屋に渡す
「岩崎家に仕えて」 「日記17の日付：昭和9年2月7日(水)」
午後三時茅町邸に赴き
先代弥太郎氏五十年の法要に臨む
余は三菱会社従業員代表として招かれたるなり
親戚の外は数氏存在するに已
「久寿弥太の訓示」
「濱口雄幸との交流」 「日記13の日付：昭和6年8月26日(水)」
十時過濱口氏邸(久世山)に至る
中島弥次氏より数日前
余に会たがり居りたりと聞き
残念に思へり
「政財界の中で」 「日記4の日付：大正9年5月25日(火)」
午後後御前口演を命ぜらる
余は動力経済を以て諮頭となし口述約志時間
本日は余の生涯に於て記憶す可き一日なりき
「関東大震災」
「テロの標的」 「日記14の日付：昭和7年12月31日(土)」
幾度かテロの的となりしも
幸に本年を無事に終りたり
「三菱引退」 「日記8の日付：昭和10年3月5日(火)」
感謝状は余が在任中の功績に対し
讃辞を羅列したるもの
言々々々肺腑を貫き涙澎湃たるを覚ゆ
「闘病と死去」 「日記18の日付：昭和10年11月22日(金)」
今朝驚のホー法華経と啼くを聞く
兩三日前の朝同様の事あり
鶯は初冬に已に啼くことを始めて知る
「木村会館」

「快心の友 濱口」

「別荘・別邸」 「日記9の日付：大正13年8月31日(日)」
午後一時壽美と吉祥寺に赴き工事の模様を視る
洋館は地上迄の鉄筋組立中
日本館の方は来月二日より建前にかかる筈
「趣味」 「日記12の日付：昭和5年4月22日(火)」
処蔵坂本龍馬佩刀長船盛光及土佐吉光と二刀を
名宝展出陳の為網屋に渡す
「岩崎家に仕えて」 「日記17の日付：昭和9年2月7日(水)」
午後三時茅町邸に赴き
先代弥太郎氏五十年の法要に臨む
余は三菱会社従業員代表として招かれたるなり
親戚の外は数氏存在するに已
「久寿弥太の訓示」
「濱口雄幸との交流」 「日記13の日付：昭和6年8月26日(水)」
十時過濱口氏邸(久世山)に至る
中島弥次氏より数日前
余に会たがり居りたりと聞き
残念に思へり
「政財界の中で」 「日記4の日付：大正9年5月25日(火)」
午後後御前口演を命ぜらる
余は動力経済を以て諮頭となし口述約志時間
本日は余の生涯に於て記憶す可き一日なりき
「関東大震災」
「テロの標的」 「日記14の日付：昭和7年12月31日(土)」
幾度かテロの的となりしも
幸に本年を無事に終りたり
「三菱引退」 「日記8の日付：昭和10年3月5日(火)」
感謝状は余が在任中の功績に対し
讃辞を羅列したるもの
言々々々肺腑を貫き涙澎湃たるを覚ゆ
「闘病と死去」 「日記18の日付：昭和10年11月22日(金)」
今朝驚のホー法華経と啼くを聞く
兩三日前の朝同様の事あり
鶯は初冬に已に啼くことを始めて知る
「木村会館」

「三菱の総理大臣」

「別荘・別邸」 「日記9の日付：大正13年8月31日(日)」
午後一時壽美と吉祥寺に赴き工事の模様を視る
洋館は地上迄の鉄筋組立中
日本館の方は来月二日より建前にかかる筈
「趣味」 「日記12の日付：昭和5年4月22日(火)」
処蔵坂本龍馬佩刀長船盛光及土佐吉光と二刀を
名宝展出陳の為網屋に渡す
「岩崎家に仕えて」 「日記17の日付：昭和9年2月7日(水)」
午後三時茅町邸に赴き
先代弥太郎氏五十年の法要に臨む
余は三菱会社従業員代表として招かれたるなり
親戚の外は数氏存在するに已
「久寿弥太の訓示」
「濱口雄幸との交流」 「日記13の日付：昭和6年8月26日(水)」
十時過濱口氏邸(久世山)に至る
中島弥次氏より数日前
余に会たがり居りたりと聞き
残念に思へり
「政財界の中で」 「日記4の日付：大正9年5月25日(火)」
午後後御前口演を命ぜらる
余は動力経済を以て諮頭となし口述約志時間
本日は余の生涯に於て記憶す可き一日なりき
「関東大震災」
「テロの標的」 「日記14の日付：昭和7年12月31日(土)」
幾度かテロの的となりしも
幸に本年を無事に終りたり
「三菱引退」 「日記8の日付：昭和10年3月5日(火)」
感謝状は余が在任中の功績に対し
讃辞を羅列したるもの
言々々々肺腑を貫き涙澎湃たるを覚ゆ
「闘病と死去」 「日記18の日付：昭和10年11月22日(金)」
今朝驚のホー法華経と啼くを聞く
兩三日前の朝同様の事あり
鶯は初冬に已に啼くことを始めて知る
「木村会館」

「豊かな生活」

「別荘・別邸」 「日記9の日付：大正13年8月31日(日)」
午後一時壽美と吉祥寺に赴き工事の模様を視る
洋館は地上迄の鉄筋組立中
日本館の方は来月二日より建前にかかる筈
「趣味」 「日記12の日付：昭和5年4月22日(火)」
処蔵坂本龍馬佩刀長船盛光及土佐吉光と二刀を
名宝展出陳の為網屋に渡す
「岩崎家に仕えて」 「日記17の日付：昭和9年2月7日(水)」
午後三時茅町邸に赴き
先代弥太郎氏五十年の法要に臨む
余は三菱会社従業員代表として招かれたるなり
親戚の外は数氏存在するに已
「久寿弥太の訓示」
「濱口雄幸との交流」 「日記13の日付：昭和6年8月26日(水)」
十時過濱口氏邸(久世山)に至る
中島弥次氏より数日前
余に会たがり居りたりと聞き
残念に思へり
「政財界の中で」 「日記4の日付：大正9年5月25日(火)」
午後後御前口演を命ぜらる
余は動力経済を以て諮頭となし口述約志時間
本日は余の生涯に於て記憶す可き一日なりき
「関東大震災」
「テロの標的」 「日記14の日付：昭和7年12月31日(土)」
幾度かテロの的となりしも
幸に本年を無事に終りたり
「三菱引退」 「日記8の日付：昭和10年3月5日(火)」
感謝状は余が在任中の功績に対し
讃辞を羅列したるもの
言々々々肺腑を貫き涙澎湃たるを覚ゆ
「闘病と死去」 「日記18の日付：昭和10年11月22日(金)」
今朝驚のホー法華経と啼くを聞く
兩三日前の朝同様の事あり
鶯は初冬に已に啼くことを始めて知る
「木村会館」



木村久寿弥太日記

大正7年から昭和10年までの大正14・昭和元年を除く15年分が残されている。



高知県出身の総理大臣 濱口雄幸

同郷の濱口との交流は特に深く、久寿弥太はたびたび助言を与えている。



昭和4年に製作された著名人の似顔絵

似顔絵110点のうち、日記に登場するのは65名(政治家39名、俳優26名)にのぼる。

企画展「木村久寿弥太日記の世界」展示資料リスト (前期：令和7年10月4日～12月26日、後期：令和8年1月6日～2月23日)

Table with columns: 資料名, 時期, 所蔵. Lists items like 'Miyazaki Kiyomasa Diary', 'Portrait of Miyazaki Kiyomasa', etc.

Table with columns: 資料名, 時期, 所蔵. Lists items like 'New Water is Empty', 'Mitsubishi Group', 'Wakino no Tomo Hamaguchi', etc.

◇は前期のみ、◆は後期のみ展示。\*は写真パネルでの展示。

# 自由民権記念館 収蔵資料の紹介

当館では、自由民権運動及び高知の近代に関する資料を、平成2年の開館時より広く収集しており、現在は歴史資料約4万6千点、一般資料約3万5千点を公開し、一般の利用に供しています。

このページでは、『自由のともしび』第100号を記念し、より多くの方に収蔵資料を活用いただくために、収蔵資料の概要やアクセス方法などをまとめて紹介します。各種調査研究に、当館資料をぜひお役立てください。

当館では、自由民権運動及び高知の近代に関する資料を広く収集・保管しています。また、収集した資料は「歴史資料」と「一般資料」(図書等)に分けて整理しています。

## 歴史資料

当館が収集した歴史資料は、その性質から以下の2つに分けられます。

### ① 資料群

家資料、蒐集家のコレクション、個人の蔵書など、出処やテーマごとに作成・収集された資料を、そのままとりごとに保管している資料です。「細川家資料」「近森コレクション」など、出処やテーマを表す名称をつけ管理しています。収蔵資料群の詳細については、次頁の一覧表を御参照ください。

### ② 「①資料群」以外の資料

数量や内容などから、資料群の扱いとしないこととした資料です。受入時期や内容、出処などは、個々の資料ごとに異なります。これについては「高知市立自由民権記念館収蔵品データベース」(以下「データベース」)にて全点検索が可能です。

## 一般資料(図書等)

歴史資料の利用(閲覧・撮影・画像提供等)する際は、事前の申請が必要です。詳しくは「データベース」もしくは当館ホームページを御確認ください。

自由民権運動及び高知の近代に関する図書や、マイクロフィルムなどの複製資料を収集しています。オーテピア高知図書館では収集対象となっていない図書や、近代に関する専門的な資料集も多く収蔵しています。「データベース」上で蔵書検索も可能ですので、ぜひ御活用ください。

なお、図書のうち、近年収集したものの閲覧機会が多いもの・自由民権運動研究の基本文献など一部の図書は、郷土情報室及び図書室に配架しており、御自由に閲覧いただけます。その他の図書は閉架書庫に保管していますので、閲覧の際には申請が必要です(当日申請可)。

また、当館では図書の貸出は行っておりませんが、枚数によってはコピーや撮影も可能です。館内職員へお気軽にお申し付けください。

## 高知市立自由民権記念館 収蔵品データベースの使い方



収蔵品データベースはこちら

### トップページ

① 任意のキーワードを入力



※空欄のままでも検索は可能です。  
※令和8年4月より、主要な異体字・旧字での検索も可能になります。

② 「検索」をクリック

### 検索結果一覧ページ

③ 各資料をクリックすると、資料詳細ページを表示できます。

タイトル	請求記号	分類	形態	備考
板垣退助感謝状	歴史130009	特別記録	書	複製
板垣退助感謝状	歴史130005	特別記録	書	複製
板垣退助感謝状(複製)	歴史130002	特別記録	書	複製
板垣退助感謝状(複製)	歴史130002	特別記録	書	複製

検索でヒットした部分が黄色で表示されます。  
※キーワード検索は、資料タイトルだけでなく、すべての資料情報を対象としています。

### 資料詳細ページ

#### 資料タイトル

請求記号	歴史130009
資料所在	特別記録庫
資料年代	1893/03/21
資料年代(和暦)	明治26年03月21日
差出人	板垣退助
受取人	金也眞正
サイズ高	26.5
サイズ幅	34.0

「請求記号」は各資料の管理用番号です。各種申請の際に資料名と併せてお知らせください。



「選択…」ボタンをクリックすると、資料の分類一覧が表示されます。ここで任意の資料群等を選択することで、検索範囲を限定できます。

# 高知市立自由民権記念館 収蔵資料群 (一部/五十音順)

令和8年3月31日時点

資料群名	受入区分	紙目録	データベース 検索	概要
赤岡尋常小学校関係資料	H18贈	15		香南市立赤岡小学校の前身、赤岡尋常小学校に関する資料。学校日誌、村誌、書籍など。
	H20贈	●		
飯田家資料	託	16		明治初期から戦後にかけて、親子三代郵便局長を務めた飯田家に伝わる資料。職務関係の公文書、刊行物、趣味の蒐集品(書画)など。
池上隆郎関係資料	託	10		高知市内の古書店主・池上隆郎の旧蔵資料。戦前期左翼運動に関するもの。
板垣退助関係資料(小山家所蔵)	託	21		板垣退助の遺品類。ルイ・ヴィトントランク、皇室下賜品、戊辰戦争時に帯刀した脇差など。
板原伝関係資料	託	●		高知県高岡郡土佐市出身の農民運動家で、土佐市長を務めた板原伝に関する資料。
入交文庫	贈	11	可	社会労働運動家で、県政顧問を務めた入交好保及び好保の弟の旧蔵書。坂本龍馬銅像(桂浜)建設運動、著作本、早稲田大学、郷土関係など。
植松龍太郎関係資料	H19贈	×	可	高知県室戸市佐喜浜町出身の民権家で、佐喜浜村長、高知県議員を務めた植松龍太郎に関する資料。書簡、三大事件建白運動関係、叔父の植村直久関係など。
	H22贈	19	可	
植村省馬関係資料	贈	26		高知県高岡郡日高村出身の融和運動家・植村省馬に関する資料。高知洋服裁縫学院、融和団体関係資料、書簡など。
氏原一郎関係資料	贈	社	可	高知市長を務めた政治家・社会運動家、氏原一郎に関する資料。社会民衆党高知県支部など地方無産政党に関するものなど。
宇田文庫	贈	2	可	ジャーナリストで『自由党史』編者の宇田友猪(滄溟)及び海洋学者の次男・道隆の蔵書。日本史・土佐の郷土史・社会科学・漢学関係の版本。
大木基子文庫	贈	12	可	高知県立短期大学教授を務めた女性史研究者、大木基子の蔵書など。
岡崎精郎関係資料(岡崎家資料)	贈	社	可	高知市春野町出身の洋画家で、後に全農連委員長として「農民の父」として慕われた社会労働運動家・岡崎精郎と、精郎の弟・和郎に関する資料。精郎による絵画、高知県の社会運動関係資料など。
岡崎和郎関係資料(岡崎家資料)	贈	社	可	
沖八潮関係資料	贈	25		高知県土佐清水市出身の融和運動家・沖八潮に関する資料。家資料、書簡、随筆録、写真、新聞切り抜きなど。
片岡家資料	託	13	可	自由民権運動の指導者の一人で、立志社社長、初代高知県議会議長、衆議院議長などを務めた片岡健吉の家に伝わる資料。
河村家資料	購	13△	可	高知県香南市香我美町の郷土、河村家に伝わる資料。訴訟関係(代理人西原清東)、土地台帳など。
木村久寿弥太日記等資料	移	●		高知市赤石町出身の実業家で、三菱の総理事を務めた木村久寿弥太の日記等資料。自筆日記、養父・漸と息子・正彦の日記など。高知市民権・文化財課ホームページにて木村久寿弥太日記は閲覧可。
吉良家資料	託	27	可	高知市春野町出身の名望家で、高知県議員を務めた吉良順吉の家に伝わる資料。息子・禎吉関係を含む、政治、議会、地域団体に関するもの。
憲政記念館文庫	移	1	可	憲政記念館(高知市)旧蔵。憲政史、郷土史関係の版本。
高知県動評闘争関係資料	贈	●		高知県出身の高橋利作が保管していた資料。高知県教職員組合、吾川郡教職員組合に関するものなど。
小松頼正関係資料(寄託)	託	社・10	可	高知県香美市物部町出身の社会労働運動家で、初代物部村村長、高知県議会議員を務めた小松頼正の旧蔵資料。寄託分…地方無産政党、労働運動に関する資料、蔵書など。
小松頼正関係資料(購入)	購	社	可	
小松頼正関係資料(寄贈)	贈	社	可	
佐竹晴記関係資料	移	19		高知県高岡郡四万十町出身の弁護士で、社会民主主義右派の代表的指導者である佐竹晴記に関する資料。電灯問題に関するもの、新聞資料。
外崎光広文庫	H14贈	○		植木枝盛の代表的研究者、外崎光広が収集した研究資料。自由民権運動、女性史、教育関係など。
	H26贈	●		
	H30贈	●		
高田家資料	贈	7	可	長岡郡本山町出身の民権家、高田一二に関する資料。『高田一二略歴』(自筆)など。
高橋簡吉関係資料	贈	14		高知市土佐山出身の民権家、高橋簡吉に関する資料。履歴、落合寅市土佐潜伏、三大事件建白運動に関するもの。
竹村家資料	贈	○	可	高知県香美市香北町の郷土、竹村家に伝わる資料。地主・農民経営や村政に関わる地方文書など。
近森コレクション	託	●		高知市出身の蒐集家・近森重治が、死去するまで自宅で保管していた資料。版本、錦絵、書跡、書簡、蒐集履歴記録など。
徳弘馬城郎関係資料	託	15●		高知市潮江出身の民権家で、板垣退助の姪・三吉と結婚し、板垣の側近の一人であった徳弘馬城郎の家に伝わる資料。板垣の「辞爵表」草稿、「発陽社規則」など、自由民権運動に関するもの。
中江兆民研究文庫(旧名称:松永文庫)	贈	○	可	中江兆民の研究者、松永昌三氏より「兆民出身地での保存・有効活用」という配慮のもとに寄贈された研究資料。兆民直筆の草稿、書簡、文献複写資料など。
濱口雄幸関係資料(濱口家資料)	託	4△		内閣総理大臣を務めた高知県出身の政治家、濱口雄幸の関係資料。遺品類、行政資料など。
濱口雄幸関係資料(水口家資料)	託	4△		
檜垣家資料	託	4		高知県室戸市羽根町の郷土で、庄屋としても栄えた檜垣家に伝わる資料。明治～大正期の当主・正義は、民権家、高知県議会議長としても知られる。
弘瀬家資料	託	10	可	裁判官、立志社法律課長を務めた弘瀬新一及び長男・重正(民権家)に関する資料。履歴、土地関係、書簡、民権関係資料など。
	贈	●		
藤田盛若資料	贈	19		高知県土佐郡土佐町出身の融和運動家・藤田盛若の旧蔵資料。土佐郡森村における融和運動関係資料など。
細川家資料	託	○	可	高知市春野町の郷土、細川家に伝わる資料。地主経営関係、父・義郷と民権家であった義昌の親子二代にわたる日記など。
堀見熙助関係資料	購	17	可	高知県高岡郡佐川町出身の民権家、堀見熙助に関する資料。講義ノート、明治法律学校、講演・演説関係など。
牧野新聞(牧野富太郎標本使用新聞資料)	贈	●		牧野富太郎が、東京の自宅に保管していた植物標本に使用された新聞紙。明治から昭和にかけて高知県内で発行されたもの。
溝淵進馬関係資料	贈	5△	可	東京師範学校教授、第四、第五、第三高等学校の校長を歴任した教育者・溝淵進馬に関する資料。中学時代の同級生、濱口雄幸の書簡など。
森小弁関係資料	贈	×	可	高知市仁井田出身の実業家で、明治期にミクロネシアへ移住した森小弁に関する資料。葉書、肉声レコードなど。
森下高茂関係資料	贈	20	可	高知県長岡郡本山町出身の民権家、森下高茂に関する資料。本山町が「森下高茂伝」出版のため収集したもの。
山崎百次郎関係資料	託	20		高知県高岡郡津野町出身で、ノルマントン号事件で遭難した山崎百次郎の関係資料。事件前後の書簡、「ノルマントンの碑」建碑に関するもの。
山本憲関係資料	託	○		高知県高岡郡佐川町出身の漢学者、民権論者・山本憲に関する資料。遺稿、遺墨、写真、自由民権運動、大阪事件関係など。

注：一部、非公開資料を含む資料群があります。資料保護の観点から、資料の状態や利用目的によっては御利用いただけない場合がございます。

凡例：【受入区分】贈…寄贈/託…寄託/購…購入/移…移管

【紙目録】○…資料群名の目録出版済/●…出納目録あり/数字…当館紀要への目録掲載号数(例：15…紀要第15号へ目録掲載)

△…一部目録のみ掲載/社…当館発行『高知県社会労働運動関係者目録』に目録掲載あり

# 創刊からのあゆみ

—『自由のともしび』100号を迎えて

# 100



第2号～  
白黒B5判



第28号～  
2色刷B5判



第32号～  
2色刷A4判



第39号～  
カラーA4判



第60号～

電子データ公開中



高知市立自由民権記念館の開館から半年後の平成2年9月15日に広報誌『自由のともしび』第1号を創刊して以来、年間2～4回の発行を継続し、このたび第100号の節目を迎えました。

創刊以来、当館の活動状況や企画展・資料の紹介、行事報告、収蔵資料の解説、人物紹介、そして研究者や来館者の声など、多岐にわたる情報を発信してきました。



第1号  
創刊号

時代の変遷やニーズに伴い、誌面形態及び印刷仕様も適宜変化を遂げてきました。創刊当初はB5判を採用し、第1号こそカラー表紙であったものの、第2号から第27号までは白黒8頁編成で発行。第28号からは二色刷りへと移行して視認性を高め、第39号以降はA4判フルカラーへと変更しました。これにより写真・図版の表現力が向上し、読者にとってより魅力的な誌面作りが可能となりました。

現在、ホームページでは第60号以降のバックナンバーを公開しており、より多くの方にも御覧いただける環境を整えております。今後も自由民権運動の歴史と精神を次世代へつなぐべく、内容の充実に努めてまいります。引き続き御愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。

第26回

# 社会科自由研究作品展報告

**期間** 令和8年1月17日(土)～2月23日(月・祝)

**共催** 高知市教育研究会社会科部会



会場入口



表彰式のアトラクション  
～民族楽器による演奏～



展示風景

社会科自由研究作品展は、当館開館10周年を記念して始まり、今年で26回目となります。今回も「歴史・人物」「地理・文化」など全6分野に数々の力作が出品されました。

応募点数は、小学校30校、義務教育学校1校から、合計146点。見ごたえのある作品の中から15点を自由民権記念館特別賞に選出しました。

1月31日(土)には表彰式を開催し、自由民権記念館特別賞受賞者やその御家族の方に御参加いただきました。

なお、期間中は延べ1047名の方に観覧いただきました。どうもありがとうございました。



自由民権記念館特別賞受賞者のみなさん

## 来場者アンケートより

面白い見方があるな、  
こういう調べ方を  
しているんだな等、  
楽しく見ました。

家族みんなで  
研究を考えることが  
できて楽しかったです。

私も仕事で資料作りを  
することがありますが、  
初心を忘れていたことに  
気が付きました。  
ありがとうございました。

## 自由民権記念館特別賞 15作品

分野	学校	学年	氏名	作品名
環境	横浜新町小学校	4	橋詰 冬理	エネルギー発電における現状と課題 今後の取り組みについて
産業・交通	旭東小学校	5	竹山 颯真	NO MONEY, NO LIFE!～お金がない人生なんてない～
産業・交通	三里小学校	6	岡林 裕人	土佐あかうしの秘密
産業・交通	介良潮見台小学校	4	梶原 小町	お金の歴史
総合・体験	旭小学校	2	寺尾 日向芽	せっこついをクビにならずにすむほうほう
総合・体験	鴨田小学校	5	曾根 宏史	南海トラフ地震から命を守る～東日本大震災の教訓からの学びを活かして～
総合・体験	横浜新町小学校	3	横田 圭信	おじいちゃんの道具教室
地域・福祉	高須小学校	6	高橋 志瑛	手話は言語だ!!～パート2～
地域・福祉	春野東小学校	6	改田 結	わたしのじゆうけんきゅう
地理・文化	鴨田小学校	2	土居 舜	ネパールってどんな国?
地理・文化	高知大学教育学部附属小学校	5	森部 詠介	ひみつがいっぱい!! 県章クイズ
歴史・人物	旭小学校	6	田村 隆翔	ぼくがお城を攻めるなら
歴史・人物	小高坂小学校	5	柏原 佑紀	高知県の戦争のひ害について
歴史・人物	第六小学校	4	佐久間 健彰	日本の戦争について考えてみた
歴史・人物	横内小学校	5	戸梶 鈴菜	独眼竜政宗に会う

# 行事予定

(春・夏)

予定は変更になる場合があります。詳しくは自由民権記念館までお問い合わせください。  
◆は当館内自由民権記念館友の会事務局にお問い合わせください。

4月29日(水・祝) 15:00~17:00

◆自由民権記念館友の会総会・  
記念講演会  
「自由民権運動を  
かけぬけた女性たち」  
講師:公文豪氏  
(自由民権運動研究者)  
会場:1階民権ホール  
※総会 13:30~15:00

5月17日(日) 14:00~16:00

■高知近代史研究会総会・  
第126回研究会  
「“展示”をめぐる近現代史」  
講師:高橋信裕氏  
(前高知みらい科学館長)  
会場:1階民権ホール  
※総会 13:30~13:50

6月27日(土) 14:00~16:00

■高知近代史研究会第127回研究会  
「大規模災害と地域文化を活かした復興」  
講師:大本敬久氏(愛媛大学地域協働推進機構特定准教授/  
愛媛大学地域協働センター南予副センター長)  
会場:1階研修室

7月下旬 10:00~12:00

■夏休み子ども歴史教室  
小中学生が、館内で自由民権運動に関するクイズラリーに挑戦  
※学校を通じて申込受付

# イベント予定

5月16日(土)

板垣退助誕生から189年 -板垣もヒーローだ！-

■講演会(14:30~16:00)  
テーマ:「板垣死すとも自由は死せず」  
講師:公文豪氏(自由民権運動研究者)  
会場:1階民権ホール

■史跡巡り(11:45~14:00) **要申込**  
土佐観光ガイドボランティア協会によるガイド付き  
龍馬の生まれたまち記念館から自由民権記念館へのまち歩き  
参加費:500円・別途電車代  
集合場所:龍馬の生まれたまち記念館

■ジビエ商品の販売(10:00~15:00予定)  
協力:高知商業高等学校ジビエ部  
場所:1階アトリウム

6月14日(日) 10:00~13:00

みんなdeマルシェ

出店予定: hoi・かして・甘音・高麗キムチ・高知商業高等学校ジビエ部  
あきやまひろみ・に志かわ高知帯屋町店他  
会場:1階アトリウム

6月中旬(予定)

みんなdeナイト~ぬいぐるみお泊り会~

夜間、館内(常設展示室・アトリウム等)で、お預かりしたぬいぐるみの  
撮影会を行います。後日、ぬいぐるみが観覧している様子等を  
民権ホールで上映し、夜の自由民権記念館を紹介します。

7月18日(土)~8月23日(日) 9:30~16:30

高知商業高等学校ジビエ部によるパネル展  
「板垣退助のふるさとから広がるジビエ」

会場:1階自由ギャラリー  
板垣の好物から着想を得た商品開発の過程を、パネルで紹介します。

8月8日(土)~23日(日) 10:00~16:00

みんなde夏遊び!

会場:1階自由ギャラリー  
協力:高知商業高等学校ジビエ部  
泥めんこ・紙ずもう・射的・折り紙の金魚すくい・ジオラマ作成等の夏祭り体験

9月26日(土) 10:30~12:00

oflove市特市(おぶらぶしっとくいち)

会場:1階アトリウム  
協力:高知特別支援学校中学部  
レーザークラフト班・石けん班・コーヒー班による販売

## ワークショップ

午前の部 10:00~12:00  
午後の部 14:00~16:00  
参加費:500円 定員:各回15名  
会場:1階研修室  
※午前・午後とも参加者対象の  
クイズラリーあり

4/18(土) コースターを作ろう!  
5/23(土) 動物マグネットを作ろう!  
6/20(土) 風鈴を作ろう!  
7/25(土) 万華鏡を作ろう!  
8/22(土) 万華鏡を作ろう!  
9/12(土) 防災グッズを作ろう!

要電話  
予約

## お知らせ

—令和8年4月1日から— **観覧料・施設の使用料が変更になります。**

### ■観覧料

【個人】  
一般 400円  
(18歳以上、ただし高校生を除く。)

【団体】  
20人以上1人につき 320円

### ■使用料

利用時間	自由ギャラリー			民権ホール	研修室	アトリウム 庭園 その他の施設
	全室	分割使用時				
		西室	東室			
午前9時~12時	6,780円	3,850円	2,930円	9,400円	3,680円	30,610円 以内で 指定管理者が 定める額
午後1時~5時	9,040円	5,140円	3,900円	12,530円	4,910円	
午後6時~9時	6,780円	3,850円	2,930円	9,400円	3,680円	
全日	21,500円	12,210円	9,290円	29,630円	11,630円	

※入場料・会費等を徴収する場合の使用料は倍額となります。 ※アトリウムの御利用は、午後6時から午後9時までの場合のみです。

時代の郷



自由のともしび  
JIYU NO TOMOSHIBI

自由民権記念館だより Vol.100

発行 2026(令和8)年3月31日 発行人 筒井秀一

発行所 〒781-8010 高知市棧橋通4丁目14-3 TEL.088-831-3336 FAX.088-831-3306

自由のともしび(Vol.60から)が当館公式サイト(<https://www.i-minken.jp/>)で御覧いただけます。